

# 海外デザイン保護セミナー 「中国におけるデザイン保護戦略」開催報告

開催日：平成17年3月7日(月)

13:30～17:00

会場：メルパルク東京・3F 百合  
(東京都港区芝公園 2-5-20)

主催：(社)日本デザイン保護協会



会場風景

## 1. セミナーの概要

当協会は、中国と係わりのある企業の知的財産部門や特許事務所等で知的財産関連の実務を担当されている方々を対象に、海外デザイン保護セミナー「中国におけるデザイン保護戦略」を開催しました。

本セミナーでは、中国の意匠特許制度や裁判制度に精通した弁護士・弁理士をはじめ、企業の知的財産(デザイン)担当をお招きして、中国における意匠特許出願の手続き、審査基準、意匠特許権行使の方法、訴訟の手続き、中国におけるデザイン模倣および侵害の対策などについて、実務経験に則した講義をいただくとともに、中国でのデザイン保護に関するパネルディスカッションを行いました。

当日は、当協会の会員企業・特許事務所の知的財産担当者をはじめとする、知的財産関係者など約70名が熱心に聴講されました。アンケートでは多くの方々から「中国の意匠特許制度や、中国での意匠特許権行使の知識を習得できた」、「自らの業務に有益であった」などの感想を頂き、盛況裡に終了しました。

## 2. セミナー(プログラム)の内容

### ● 第1部 (13:35～14:15)

#### 「中国の意匠特許制度の現状」

(郝慶芬氏／北京銀龍知識産権代理有限公司)

東京事務所長 中国弁理士)

中国における意匠特許出願の手続き、審査基準、意匠特許権の無効宣言請求、侵害判断など、中国の意匠特許制度の現状を、元中国専利局審査部長が解説しました。



第1部：郝慶芬氏

● 第2部 (14:15～15:00)

「中国での意匠特許権行使における戦略」

(ロイド・パーカー氏/ロヴェルズ外国法事務

弁護士事務所 外国法事務弁護士)

中国の裁判制度、意匠特許権行使の方法、行政訴訟・民事訴訟の手続き、証拠方法、侵害判断例、デザイン模倣・侵害への対策などを、アジアにおける知的財産法務に詳しい外国法事務弁護士が解説しました。



第2部：ロイド・パーカー氏



青木博通氏



水谷直樹氏

● 第3部 (15:15～17:00)

「中国でのデザイン保護に関する

パネルディスカッションと質疑応答」

(コーディネーター：青木博通氏/ユアサハラ

法律特許事務所 パートナー 弁理士

パネリスト：郝慶芬氏

ロイド・パーカー氏

水谷直樹氏/水谷法律特許

事務所 弁護士・弁理士

山縣好明氏/(株)日立製作所

知的財産権本部 主任技師)

中国における意匠特許制度の利用、意匠特許権行使における戦略、デザイン模倣・侵害への対策などについて、第1部・第2部の講演を受け、パネルディスカッションを行いました。

また、質疑応答では参加の申込み時にいただきました質問や、会場からの質問にパネリストがお答えしました。



山縣好明氏



第3部：パネルディスカッション